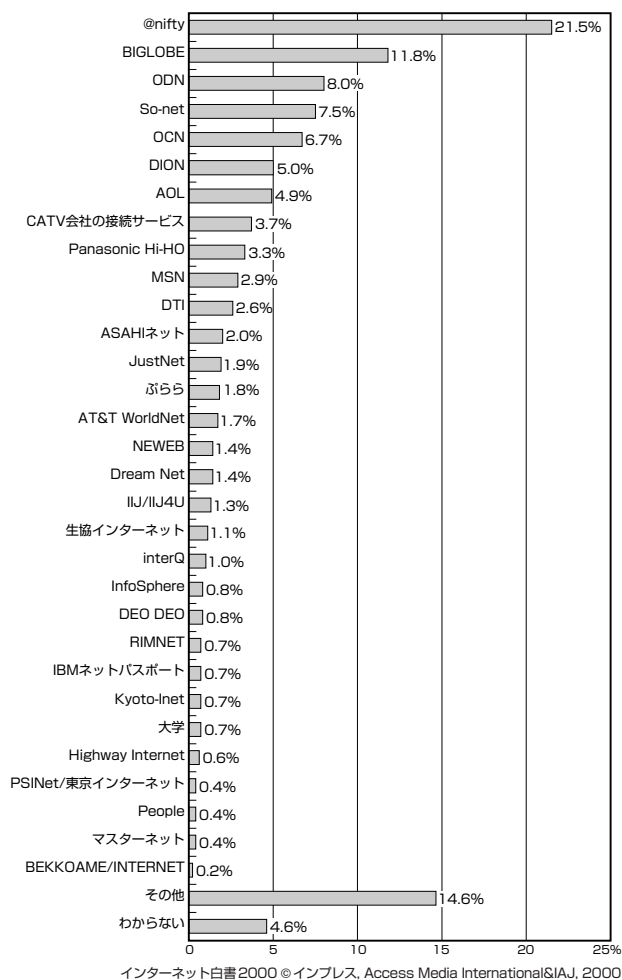


第2章 個人

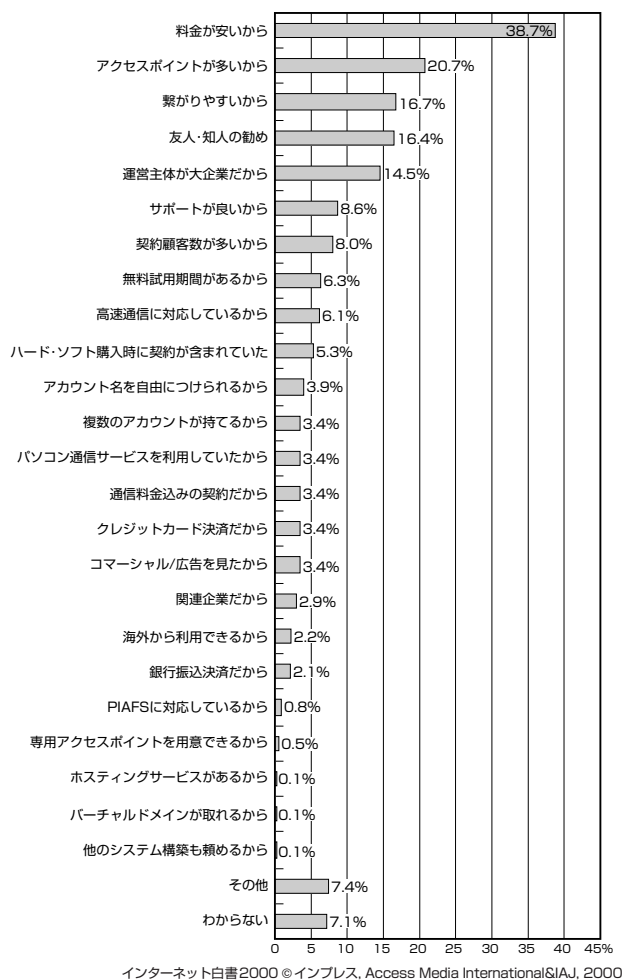
契約プロバイダー

1位@nifty、2位はBIGLOBE

資料1-2-33 契約プロバイダー N=1666



資料1-2-34 プロバイダー選択理由 N=1666



解説

契約上位のプロバイダーとしては、「@nifty」(21.5%)、「BIGLOBE」(11.8%)、「ODN」(8.0%)、「So-net」(7.5%)、「OCN」(6.7%)が5位までを占めている(資料1-2-33)。昨年と比較すると1、2位は変わらないが、それぞれのシェアはやや減少し、全体的にシェアが分散している。一方3、4位の「ODN」、「So-net」の健闘が目立つ。特にこの2社は性別でみると、女性の比率が男性の比率を上回っているプロバイダーである。昨年まではODN、DION、テレウェイ、NEWEB等を第二電電系としてまとめていたが、今回から独立項目としている。いずれの第二電電系プロバイダーも契約率を伸ばしているのが特色である。逆に、富士通系の「NIFTY SERVE」と「InfoWeb」はサービスの統合のため今年は「@nifty」まとめられている。

また、昨年の0.7%から3.7%と一挙に急進しているのは

「CATV会社の接続サービス」であるが、今後の成長によってはプロバイダーごとに分類したい項目である。

昨年から浮上してきた大手キャリア系プロバイダーに加え、今年個性派の個人利用者向けサービスを前面に打ち出したプロバイダーの人氣が高まっている点が特色ともいえる。回線面では大手プロバイダーの回線を利用した「付加価値」サービスプロバイダーのような業態が登場してきたこともある。従来、インフラ業としてハード的に充実が求められてきたプロバイダービジネスであるが、特に個人利用者に向けては、ソフト面でどのようなサービスが提供できるかが成長の鍵であるといえる。今後さらに企業利用者向けと個人利用者向けのサービス内容の二極化や大手と地域密着型、付加価値型等の使い分けが進み、それぞれのサービスで支持されるプロバイダーが成功することが推測される。



[インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ iwp-info@impress.co.jp